

グリーンカルチャー

令和5年度
夏号
No.323

こうか

発行 | 甲賀農業農村振興事務所
農産普及課

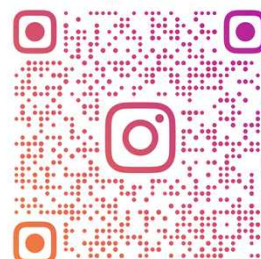
住所 | 〒528-8511
甲賀市水口町水口6200

電話 | 0748-63-6126

発行責任者 | 河村 久紀



甲賀農業農村振興事務所では、管内の農業・農村の情報をいち早く、より多くの方に発信するために、Facebook、Instagramによる情報発信を令和3年10月より実施し、令和4年度は67回の更新をしました。今後も魅力的な甲賀地域の農業・農村情報を発信してまいりますので、ぜひフォローをお願いします！



近江米新品種「きらみずき」について

滋賀県が誇る美しい琵琶湖をみらいへつなぐため、近江米の新品種として、「きらみずき」が育成されました。環境や人への“やさしさ”に配慮し、農薬をできるだけ使わない栽培を行っています。



品種の特徴

◇ 成熟期は「日本晴」から2日ほど遅く、「きぬむすめ」より5日ほど早い

成熟期の目安

日本晴

きらみずき

きぬむすめ

9月14日

9月16日

9月21日

◇ 草丈が短いため倒れにくい

◇ 高温に強いので品質が落ちない

◇ 粒が大きくて食べ応えがありおいしい

栽培についての注意点！

「きらみずき」は環境こだわり農産物の栽培基準より、さらに化学肥料や化学合成農薬を削減して栽培していきます。そのため、栽培される場合は下記の2つから栽培方法を選択する必要があります。

1 化学肥料や殺虫・殺菌剤を使用しない栽培

肥料

本田において
化学肥料は使用できません！

対応策は？

- ・有機質肥料の利用
- ・大豆、野菜跡での栽培
- ・たい肥、緑肥等の活用

農薬

- 殺虫剤、殺菌剤を使用できません！
- 除草剤は使用できます
- カメムシやいもち病が出やすい地域は避けましょう！

斑点米をなくしましょう

- ・出穂前後に草刈りすることで、カメムシを増やさない！寄せ付けない！
- ・色彩選別機を使って取り除きましょう！

2 オーガニック（有機）栽培

オーガニックの表記をして出荷をする場合、有機JAS認証を受ける必要があります。

有機農産物・・・国の定める規格の基準に従って生産されたもの

- ・周辺から農薬が飛んでこない
- ・播種前または圃場に植え付け前2年以上、化学肥料や化学農薬を使っていない
- ・遺伝子組み換え技術などを利用していない 等

有機JAS認証
取得にあたって

有機での栽培方法については、
有機登録認証機関の認証を受ける必要があります！

詳しくは、当課まで気軽にお問い合わせください

果樹栽培のすすめ

— ぶどう・なし・いちじくの栽培を始めてみませんか —

甲賀地域では、平成22年に「甲賀いちじく部会」が設立され、いちじくの生産が行われてきました。平成25年からは新たな果樹品目としてぶどう・なしの生産を増やす取組を進め、現在ではいちじく19名、ぶどう20名、なし13名の生産者が栽培を行っています。それぞれ「甲賀いちじく部会」や「甲賀ぶどう栽培研究会」、「甲賀なし栽培研究会」で研修会等を行い、栽培技術の習得、果実品質の向上を目指しています。近年では、若手の新規栽培者も加わり、生産者の多様化もみられています。果樹生産のさらなる拡大が期待されている甲賀地域で、一緒に果樹栽培を始めてみませんか。

甲賀の果樹栽培の特徴について

ぶどうでは「改良仕立て栽培」、なしでは「低樹高栽培」を中心に栽培されており、いずれも樹高を低くすることで、果樹栽培において負担の大きい上向きの作業が大幅に削減できます。また、いちじくでは「簡易雨よけ栽培」での栽培が多く、果実に雨が直接当たらないことで病気の発生リスクを減らし、高品質な果実を生産することができます。



ぶどう

「改良仕立て栽培」



なし

「低樹高栽培」



いちじく

「簡易雨よけ栽培」

収穫した果樹の販売先について

収穫された果樹は主に管内直売所へ出荷されており、いちじくでは市場出荷も行われています。直売所での販売量は年々増加しており、好評を得ています。昨年度からはぶどうで地元量販店への出荷にもチャレンジしています。

果樹栽培に興味を持たれた方は・・・

詳細な栽培管理方法や経営収支等についてご興味のある方は、当課までお問い合わせ下さい。

祝

「世界農業遺産」認定！

琵琶湖と共生する滋賀の農林水産業

森・里・湖に育まれる漁業と農業が織りなす琵琶湖システム





農大卒業生インタビュー



「農業の未来は明るい!」

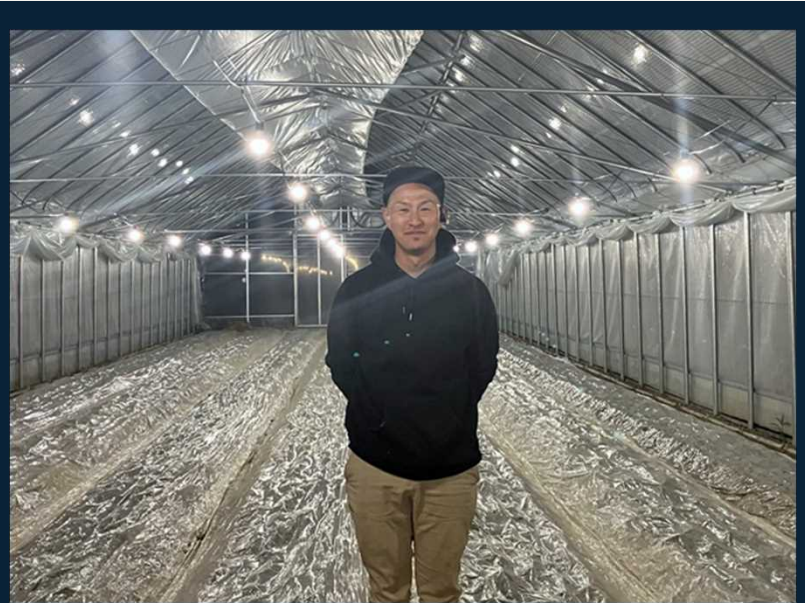
開口一番、そう快活に言い切られた橋本さんは、令和4年度より甲南町でハウス2棟を建て、輪菊を中心に花きの周年栽培に取り組んでおられる新規就農者です。

就農のきっかけは、いろんな意味で機が熟したとのこと。「実家の田んぼの手伝いが子供の頃から好きでした。16年間務めた職場を退職し、自分が本当にやりたいことを問い直した時、年をとっても若々しく、大雑把でもポイントをつき無駄のない働き方をする農家の生き方に憧れがありました。また、地元集落では年々耕作放棄地が増加し、貰い手を探している土地もありました。」

品目検討のためJAと県農産普及課に相談したところ、先駆者の少ない花きを提案されました。「視察先の菊専業農家で目の当たりにした、大きなハウスに整然と畝が並び立派な菊が育っている光景が忘れられず、見た瞬間わくわくしました」。ちょうど県で専業的菊農家の育成に向けたプログラムが始まった時でもあり、3か月で一気に就農に向けた準備が動きだしました。

菊栽培の技術習得のため入学した農大就農科は、毎日が新しいことの発見で飽きることがなかったといいます。

「限られた1年で吸収できることは全部吸収してやろう」、実習中に経験した機械トラブルや壊れたハウスの修繕といった体験も糧となりました。質問に対し必ず答えをくれる農大の先生の存在も心強かったといいます。「就農計画を立てる際にも沢山サポートしていただけました。市場や先輩農家、JAなど就農後にお世話になる人々との接点をつくってもらえたのもとてもありがたかったです」。これから就農科に行く人へのアドバイスとして「一番大事なことは本人がやる気であること、自分が本気になれば助けてくれる人は沢山いる」と語る橋本さん、今は限界まで作業をこなし早く次のステップへ進みたいと農作業に打ち込んでおられます。将来の地域農業を牽引してくれる存在として、これからのご活躍が楽しみです。



電照で照らされた輪菊ハウスと橋本さん

滋賀県農業大学校のご案内

滋賀県立農業大学校(専修学校)では、専門技術・知識を学ぶことができ、在学中に各種資格の取得が可能です。農業で生計を立てたい方、県農業大学校で学んでみませんか。

	修業 年限	定員 (名)	主な応募要件	専攻	受付期間 (一次募集)
養成科	2	30	高等学校卒または卒業見込みのもの	水田農業、茶、施設 園芸、果樹、畜産	令和5年11月24日～ 12月5日(必着)*1
就農科	1	15	20~65歳かつ終業後に県内で農業 経営開始が確実なもの	園芸	令和5年11月7日～ 12月8日(必着)*2

その他に推薦募集*1、二次募集*1,2が予定されています。定員に達した場合、二次募集は実施されません。

※詳しくは、県農業大学校(0748-46-2551)、または当課までお問い合わせ下さい。